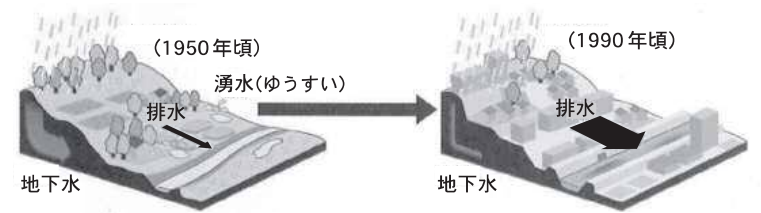


みずっちゃん●水田泰子
平成6年国土交通省関東地方整備局入省、江戸川河川事務所調査課水質調査係長。坂川に関する出前環境講座も依頼があれば行っている。3人の子供の母親の視点からも水について考える日々。松戸市在住。



いわゆる

坂川の源について



昭和56年10月の洪水（けやき通り）

このあたりのことは、実体験として覚えている方もいらつしやるのではないのでしょうか？

昭40年代には坂川流域も都市化が進みました。山林や田畑が宅地化され、道路も舗装が進み、その結果、雨が降ると一気に坂川に水が集まるようになりまし。再び、洪水との戦いです。

国土交通省（当時は建設省）の出番です！

そこで、どんな対策をとったかということ……。坂川の流れを良くするため川幅を広くし、川底を

坂川放水路と排水機場の新設

坂川の中下流部については、住宅が川まで迫っているので川幅を広げるのは難しい状況です。そこでなんと！ またまた新しい川を掘ったのです。



けやき橋から望んだ坂川（上：改修前、下：現在）同じ場所です。

掘りました。この坂川改修は昭和60年から始まり、平成9年に完成しました。渡辺庄左衛門の時代と違い、シヨベルカーもダンプトラックもありましたが、それでも12年という長い年月を要しました。治水の話ではありませんが、当時、画期的だったのが、坂川の堤防護岸の構造です。利根川からの導水時の安全のため、堤防護岸の下の部分はコンクリートブロック張りにしましたが、市街地部を通るため環境に配慮して、上の部分は植栽ブロックを使用しています。

■国土交通省管理の坂川区間は、流山市野々下～松戸市新松戸6丁目（新松戸西小学校の辺り）までです。



皆さんにできる治水対策

「側溝や雨水ます」に落ち葉やごみが詰まると、水があふれて浸水被害の原因になります。東京都のゼロメートル地点の住民の方は、雨が降り始めると側溝にゴミが詰まらないよう、特にレジ袋の除去をしています。

皆さんも、家の周辺の雨水ますや側溝にゴミが入らないよう清掃したり、車乗り入れブロックや植木鉢といった物を置かないことで、雨水がスムーズに下水道（雨水管）や河川に流れるようにすることが重要です。

タイ王国の洪水被害

近年、世界のあちこちで洪水被害が発生し、ニュースになっています。中でも、タイの洪水は記憶に新しいと思います。台風がきっかけで始まったこの洪水は、3カ月も続き、400人を越える人が亡くなり、230万人に影響を及ぼしました。水没したローチャナ工業団地では、日本の企業が操業停止を余儀なくされ、大打撃を受けました。

このとき、日本から国際緊急援助隊専門家チーム（排水ポンプ車チーム）として、国土交通省から排水ポンプ車10台と技術者が派遣されました。排水ポンプ車とは、排水作業に必要な設備をすべて搭載した車両です。この車両は、東日本大震災のときにも使ったものです。

「坂川放水路」です。そしてさらに、坂川上流部の水を早く江戸川に流すため、坂川放水路と江戸川との合流部に「松戸排水機場」を建設しました。流山街道を通ると、主水新田あたりで見えてくる大きな建物と大きな青い水門がそれです。

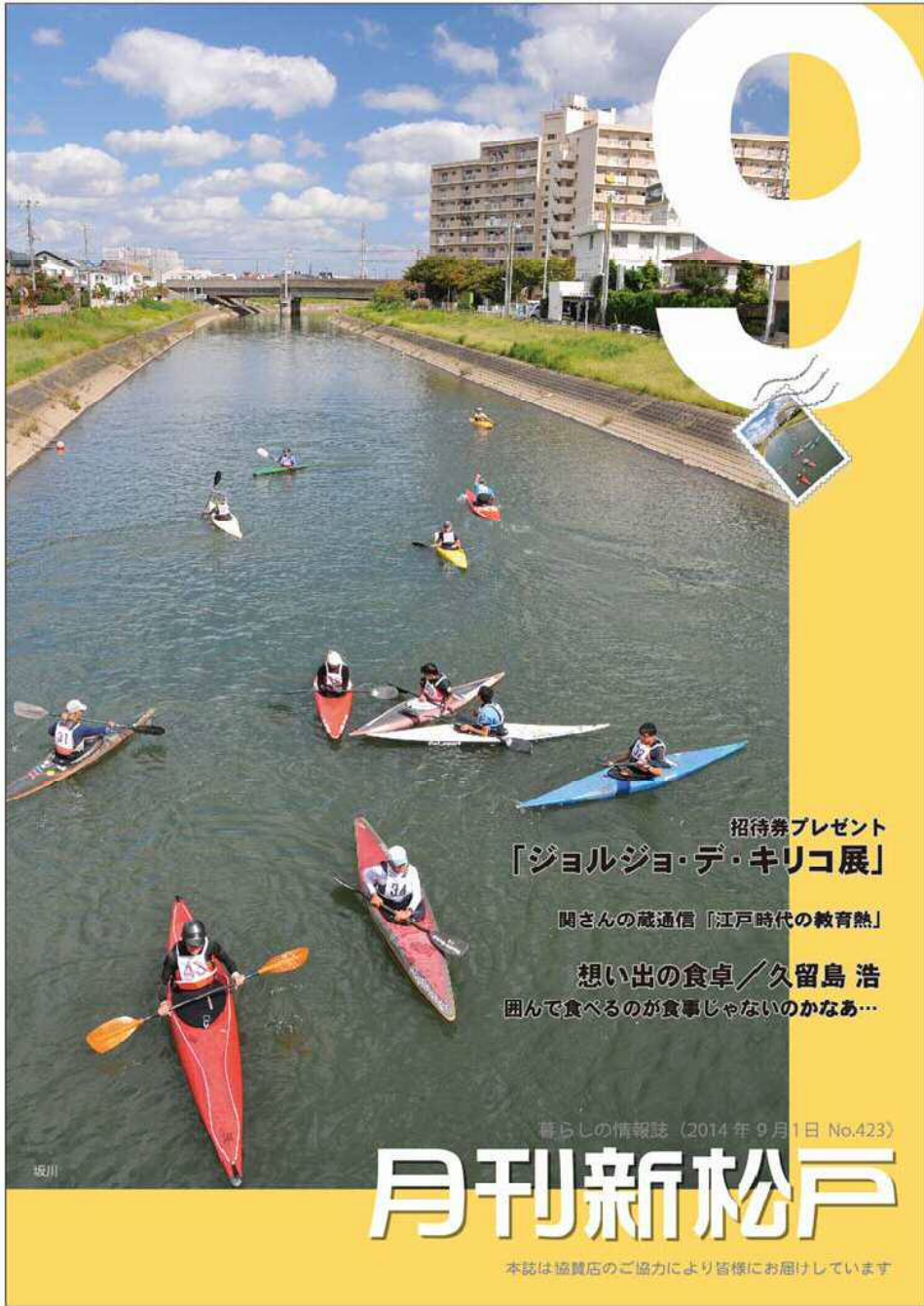
松戸排水機場にはポンプが3台設置されており、坂川の水を、あわせて最大毎秒1000m³も江戸川に排水する能力もっています。これは例えば、小学校のプール（25×18×1m）の水を、約5秒で空にできる巨大な能力です。

坂川放水路が完成したのは昭和57年のこと。松

しかし近年、ゲリラ豪雨という言葉をよく耳にします。洪水の危険が少なくなつた坂川流域でも、雨の降り方が変わってきて、突発的に局所的豪雨に見舞われ、時には被害が出ることもあります。自分は大丈夫！と過信せず、普段から気象情報や防災情報に注意し、災害に備えることが大切です。

油断大敵です！

戸排水機場は、昭和56年にまず50m³/Sの排水能力を完成し、平成7年に100m³/Sを完成しました。これによつて一気に洪水被害が減りました。



招待券プレゼント

「ジョルジョ・デ・キリコ展」

関さんの蔵通信「江戸時代の教育熱」

思い出の食卓／久留島 浩

困んで食べるのが食事じゃないのかなあ…

暮らしの情報誌 (2014年9月1日 No.423)

月刊新松戸

本誌は協賛店のご協力により皆様にお届けしています